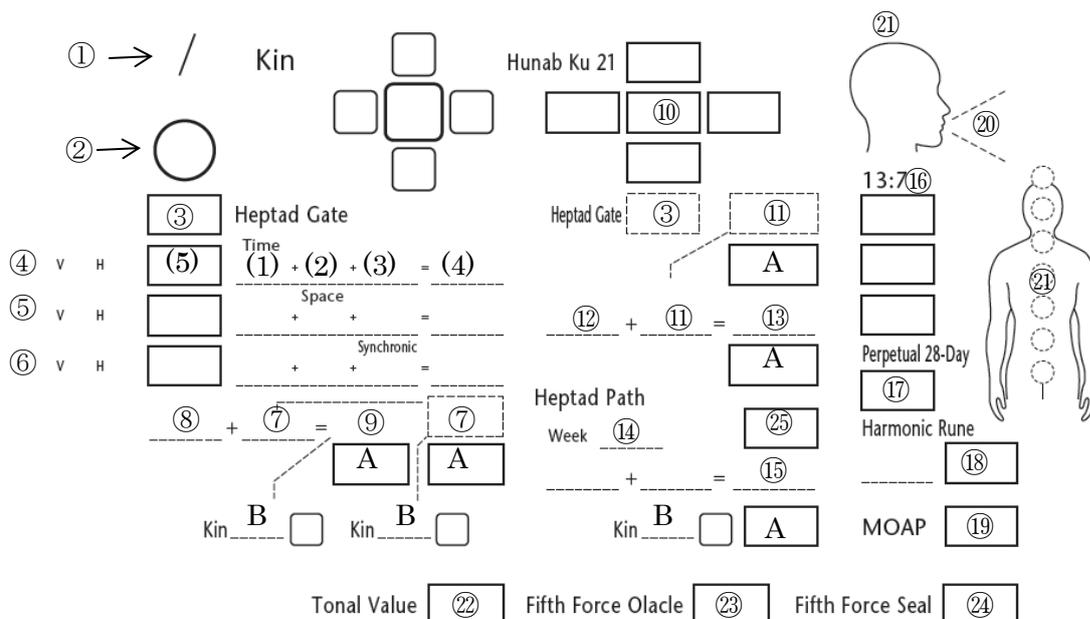


シンクロトロンの実践方法



- ① その日の13の月の暦の月日とキン番号
- ② その日のプラズマのマーク
- ③ ヘプタッドゲートの番号 (参照 : SEVEN HEPTAD GATES OF ...)
- ④ 13 Moon/28-Day Calendarで、13月暦の月日に対応する行列(V*,H*)の数値例 : 電気の月4日=V4,H3、宇宙の月20日=V16,H1が行列の位置(1)Time Matrix上で、その行列の位置に対応する数値(2) Space Matrix 上で、その行列の位置に対応する数値(3) Synchronic Matrix 上で、その行列の位置に対応する数値(4) (1)~(3)の数値の合計(TFI: Telepathic Frequency Index)(5) Base Matrix 上で対応する数値(BMU: Base Matrix Unit)
- ⑤ Space Matrix で、その日のキン番号に対応する行列(V*,H*)の数値例:(KIN)209 =V13,H20④の(1)~(5)と同様
- ⑥ SynchronicMatrix で、その日のキン番号に対応する行列(V*,H*)の数値例 : (KIN)209 =V15,H9④の(1)~(5)と同様
- ⑦ 3つのTFIの合計(MCF: Master Coordinating Frequency)
- ⑧ その週の前日までのMCFの累計
- ⑨ その週の当日までのMCFの累計、⑦+⑧

A BMU値 : すぐ上の数値を441で割った余り (=441以下になるまで441を引いた数値)

B Kin値：関連する数値を260で割った余り（=260以下になるまで260を引いた数値）

⑩ フナブ・ク21Funab Ku21で、その日のキンに関連するオラクルの紋章に対応する数値

⑪ 各オラクルに対応する数値と③の6つの数値の合計

⑫ その週の前日までの⑪の数値の累計

⑬ その週の当日までの⑪の数値の累計、⑪+⑫

⑭ Funab Ku21で、ヘプタッド（年の第何週）の週番号

⑮ Funab Ku21で、ヘプタッド（年の第何週）の括弧数値と結んだ紋章の数値例：第13週(13)は白い風と赤い空歩く者を結ぶ⇒ 144、315

⑮の2つの紋章の数値の合計：上の例では 459(=144+315) ⇒AのBMUは18

⑯ 13：7で、当日のキンの銀河の音とプラズマが交差する3つの数値例：水晶の音の日のシリオの日189、315、63

⑰ Perpetual 28-Dayで、日付に対応する紫の数値例：（青い第3週の）20日137

⑱ ハーモニック・ルーンで、13月暦の月日に対応する数値（黒がBMU）例：共振の月15日103、314

⑲ MOAPで、その日のキンに対応する行列(V*,H*)にあるBase Matrixの数値

⑳ 当日のヘプタッド・ゲート（プラズマ）に対応するマントラ（参照：SEVEN HEPTAD GATES OF ...）

㉑ 以上のBMUにヒットしたプラズマ（参照：The SevenHeptad Gates）

㉒ Tonal Value(音の値)：その日の銀河の音の次元パルサーに対応したタイムレンズ（4次元=108、1次元=144、2次元=216、3次元=288）×その日の銀河の音（参照：HUNAB KU 21、Galactic Tree of Life & Knowledge）

㉓ Fifth Force Oracle：その日のオラクルをつくる5つのキン番号の合計（類似キン、反対キン、ガイドキンの銀河の音は運命キンと同じ。神秘キンの銀河の音は「14-運命キンの銀河の音」）。例：Kin209（運命=1・月(209)、類似=1・犬(170)、反対=1・嵐(79)、神秘=13・人(52)、ガイド=1・月(209))。

209+170+79+52+209= 719 ⇒ BMU278(=719-441)

㉔ Fifth Force Seal(Daily fifth force number signature)：その日のオラクルをつくる5つの太陽の紋章の番号とその日のヘプタッド・ゲートに対応する紋章の番号（ダリ=1（竜）、セリ=7（手）、ガンマ=2（風）、カリ=13（空）、アルファ=20（太陽）、リミ=18（鏡）、シリオ=21）の合計。

㉕ ヘプタッド・パス値：その日のオラクルをつくる5つの紋章とその日のヘプタッド・ゲートに対応する紋章（上の㉓と同じ）が関係するヘプタッド・パス値とそ

の週のヘプタッド・パス値（年の第○週）の合計。（参照： HUNAB KU 21、52 Paths of TOLLAN）

※ 以上の作業で、黒い実線のマスに入った(BMU)数値を下のベースマトリクスにプロットし、そのうち縦、横、斜め45度になる関係のBMUを結ぶ。

※ ヒットしたBMUの数値を研究する。

※ ヒットしたBMUの位置と関係をHolomind Perceiver Matrixで検討する。

NS.1.26.8.9 Waiar(kin56)